

## 宮嶋 謙 議員



**Q** コロナ対策の相談窓口を設置して家計再建プログラムで支援すべきでは？

**A** 既存制度を活用しながら生活保護に至らないよう努めます

**Q** コロナ禍への経済対策、特に家計が破綻したご家庭に対する支援策を積極的に取っていただくために、相談窓口を設置してご家庭に合った支援策をご案内、お手伝いをして破綻を免れる、あるいは立ち直るお手伝いをする必要があります。再建のプログラムをぜひ市で用意して、かすみがうら市においては万が一のときに市が味方になってくれる、自立を助けてくれる、そういうような体制づくりをお願いしたい。

**A** 保健福祉部長 休業や離職により住居を失うおそれがある方に対しては、住居確保給付金を支給する事業などの既存制度を活用しながら生活保護に至らないように努めてまいります。体制づくりについてもご意見を参考にさせていただきたいと思えます。

**Q** 今回の緊急事態、あるいは万が一の災害時においては、神立駅を中心とした生活圏を共有する土浦市との連携が大切です。土浦市と災害時のための協定等をあらかじめ結んでおいて、何かあった場合は連携して合同の対策本部を設立し、地域的な課題への対応を徹底する、そして速やかに実行するという体制が必要ではないでしょうか。

**A** 総務部長 これまで、石岡市と大規模災害時における広域避難の連携に関する協定等を締結し、また、霞ヶ浦環境科学センターと覚書を交わして東埼地域の土砂災害一時避難待機所等として利用してまいりました。さらに神立駅生活圏から避難する居住者または帰宅困難者のために、県内の全市町村において総合応援に関する協定等を締結しております。

**質問通告事項**  
**1** 新型コロナウイルス感染症対策の影響による困窮家庭への支援について  
**32** 緊急事態における、土浦市との連携について  
 地域要望への対応手続きの「見える化」について



## 小倉 博 議員



**Q** 今後の社会経済活動の再開について伺う

**A** 本市としましても独自支援策について進めていく考えです

**Q** あらゆる産業で経済活動が縮小しており、先の見えない状況の中、今後の社会経済活動の再開について伺う。

**A** 市長公室長 今後、これまで経験したことがないような経済の落ち込みが予想をされており、こうした中、社会経済活動を再開するにあたりまして、市民の皆様には国が示した新しい生活様式等の実施をお願いし、事業者の皆様に対しては県が示しました各業種のガイドラインの順守など、新しい時代の変革への対応支援や、消費マインドを向上するための刺激策等について、本市としましても国や県が今後取り組むための施策を踏まえた独自支援策について進めていく考えです。

**Q** 新型コロナウイルス感染症対策について、世界全体が深刻な危機に陥っている中、感染症対策の国と県、本市の連携について伺う。

**A** 市長 国からは新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針が示され、それを踏まえつつ都道府県知事が感染拡大予防策を講じてまいりました。

茨城県においては感染爆発を食い止めるため、ゴールデンウィーク中の人の移動を最小化することを目的に、観光ロックアウト宣言が出され、本市としましても県と協調して、関係者の理解のもと、観光関連施設の封鎖に踏み切りました。また、感染に関する相談の窓口である保健所の職員も逼迫した状況であったことから、本市においては、保健所に保健師を派遣し、支援に当たってきました。

**質問通告事項**  
**1** 新型コロナウイルス感染症対策について



第2回定例会での一般質問は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、時間を短縮し、質問及び答弁時間を通常90分のところ、45分として行いました。

質問通告事項

21 戸崎原地区の国道354号の危険改善について  
住民生活を支える公共交通政策について



▲国道354号 (戸崎地内)

来栖 丈治 議員



Q 戸崎原地区の国道354号の危険改善について伺う

A 市ではできるだけ直線化の線形改良を進める意向です

Q 事故多発の国道354号戸崎原地区の危険回避に向けての道路改善と、同所の戸崎原区長から要望があった押しボタン式信号機を感應式信号機へ変更について進捗状況を伺う。

A 市民部長 市ではカーブをできるだけ直線化する道路の線形改良を要望してきましたが、進捗状況を確認したところ、今後の進め方は、線形改良の方向で県警と交差点協議を行いながら詳細設計、用地測量を行い、準備が整い次第用地交渉に入る予定と聞いております。市からは、信号機の支柱が車道に近接していることから移設を要望しており、これまで感應式信号機への改良要望を土浦警察署長に行いましたが、市道側の交通量が少ないとの理由で実現しておりません。道路改良で交通量が増加し交通整理が必要になった場合は、感應式への変更に検討の余地があると言っているため、支柱の移設要望と併せて、感應式信号機への変更についても再度要望してまいります。

Q 坪井市長から第1回定例会で、デマンド型乗合タクシーの存続を含め、最適で持続可能な交通体系の実現に向け検討していると答弁があった。議会から付帯決議、趣旨採択、市長宛ての意見書提出から一年が経過する。この問題の結論はいつ頃出せるのか。議会への報告機会は考えていないのか。どんな考えをお持ちか伺う。

A 市長公室長 地域公共交通計画策定の中で決定していきたいと考えております。議会への報告は、アンケートの集計結果を含め素案の段階から報告をさせていただき考えます。コンサルタントとの契約はこれからですが、年内に素案をまとめ、年明けパブリックコメントを実施する方向で調整する予定です。

設楽 健夫 議員



Q 救急隊の新型コロナウイルス感染症防止策について伺う

A 今後、除菌室整備を検討してまいります

Q 市民のいのちと暮らしを守るため、救急隊の新型コロナウイルス感染症防止策はどのようになっていくか伺う。また、消防本部の除菌室の状態と整備についてはどのようになっていくか伺う。

A 消防長 新型コロナウイルス感染症傷病者及び感染の疑いのある傷病者を搬送した場合は感染防護衣を廃棄処分、通常救急対応時は、感染防護衣を帰署後すぐに救急車内でオゾン発生装置を使用し殺菌消毒を実施して使用回数を延ばして対応しています。現在、消防本部には除菌室はございません。今後、除菌室整備を検討してまいります。

Q 学校の(オンライン学習)対応における一人一台パソコンの総費用と実施計画について伺う。

A 教育部長 タブレット端末の整備計画でございますが、全体で3250台、機種の選定等にも異なりますが、全体事業費を3億3000万円程度と見込んでおります。そのうち国からの補助額は9200万円、本市の負担は2億3800万円と試算しています。今後は児童生徒一人一台のタブレット端末整備により、オンライン学習全体の環境を整えてまいりたいと考えております。

質問通告事項

1 市民のいのちと暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策、感染防止、三密対策、BCP 防災体制、同マネジメントマニュアル作成について  
2 コンプライアンス・政治倫理条例案の市長公室資料について



▲消防本部

## 佐藤 文雄 議員



**Q** 学校給食無料化など子育て支援について伺う

**A** 少子化は大変大きな課題だと思っております

**Q** 常陸太田市は、少子化・人口減少対策を重点課題の一つとして積極的に取り組んでいる。市立小・中学校給食も半額にし、本年度からは、保育園・幼稚園の給食費を無料化するなど、年々支援を充実させているが、本市の子育て支援について伺う。

**A** 市長 少子化は大変大きな課題だと思っております。そういった中で、子育てにどういった応援ができるか今後研究をしてまいりたいと考えています。

**Q** 千代田中学校区義務教育学校の見直しについて、教育長の見解を伺う。

**A** 教育長 私といたしましては、平成30年3月に策定いたしましたかすみがうら市小中一貫教育基本方針に沿って、中1ギャップや小6問題にも適切に対応する小中一貫教育を進めていきたいと考えてございます。また、今年度は、地域の代表の方々によります開校準備委員会を開催していくほか、現在の、校舎建築工事の発注手続きを進めている状況でございます。

### 質問通告事項

- 21 子育て支援について  
千代田中学校区の小中一貫校（義務教育学校の見直しについて）
- 3 食料自給率を引き上げることについて



## 矢口 龍人 議員



**Q** 公共施設マネジメント計画の現状について伺う

**A** 計画通りには進んでいないことは事実でございますが、前向きに取り組んでまいりたい

**Q** 2014年に策定した公共施設マネジメント基本計画の中では、本市の公共施設を維持管理していくための更新経費として莫大な予算が必要であることが課題として取り上げられており、既に6年が経過しようとしている。現状の認識について伺う。

**A** 市長 この公共施設マネジメント計画は大変膨大な作業で、市民の皆様方が施設を活用しながら今後の在り方を考えていく、そういった作業でございます。なかなか計画どおりに進んでいくことが事実でございます。そういった中で皆様方にご協力をいただきながら、老朽化しているという課題もありますので、前向きに取り組んでまいりたいと考えています。

**Q** 放課後児童クラブの整備計画について、「千代田中学校区統合小学校の令和4年度開校に合わせて、同学区内に施設運営している放課後児童クラブを統合し、統合校敷地内に整備することについて進めております。」との文章が回覧されているが、どのように市民の意見を聴取したか伺う。

**A** 保健福祉部長 放課後児童クラブの統合につきましては、国の指針に即し、統合小学校の整備と併せ、学校敷地内に新設する方針で、PTAの代表の方や、学区内の保護者の代表の方が入る、千代田中学校区統合小学校整備基本計画策定委員会で議論をしていただきました。その中で意見や要望などを出していただいたり、また、地域の説明会でも意見を聞きながら進めてきたところです。

### 質問通告事項

- 1 千代田中学校区4小学校統合に伴う課題について



▲千代田中学校